

報道関係者各位

2026年3月9日
野村不動産ホールディングス株式会社
野村不動産株式会社

顧客エンゲージメントの一環として 27 の企業・団体とともに サステナビリティイベント「みんなのフェス！2026」開催

— 住宅部門の会員組織のお客様、オフィス入居者様などを対象に、3日間で約1,800名が来場 —

本ニュースリリースのポイント

1. 27の企業・団体のみなさまとともに、「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S（ブルーフロント芝浦）」にてお客様向けのサステナビリティイベントを開催
2. 「みんなの『いいね』が未来をつなぐ。」をキーワードに、「生物多様性」、「サーキュラーデザイン」、「ダイバーシティ&インクルージョン」等幅広いテーマでのセミナーやワークショップを通じて、サステナビリティを身近に学ぶ機会を提供
3. 2/21～23の3日間で、約1,800名が来場し、来場者へのアンケートでは高い満足度を獲得

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：新井 聡、以下「野村不動産ホールディングス」）、野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾大作、以下「野村不動産」）は、2026年2月21日（土）～2月23日（月）の3日間、野村不動産 住宅部門の会員組織（野村不動産グループカスタマークラブ、プラウドクラブ等）のお客様、野村不動産が運営するオフィスの入居者様などを対象としたサステナビリティイベント「みんなのフェス！2026」を、グループ本社である「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S（ブルーフロント芝浦）」にて開催しました。



みんなの「いいね」が、未来をつなぐ。

【イベントメインビジュアル】



【当日の様子】

本イベントは、当社が顧客エンゲージメント創出の一環として、イベントの趣旨に賛同いただいた27の企業・団体のみなさまとともに、ワークショップやセミナーなどを企画。「みんなの『いいね』が未来をつなぐ。」（「みんなの」）をキーワードに、サステナビリティを身近に感じ、新たな行動のきっかけとなることを目指したイベントです。

開催期間3日間で、約1,800名にご来場いただき、終了後の来場者へのアンケートでは平均満足度4.67（5段階中）を獲得、約7割の方より「次回以降もぜひ参加したい」との回答をいただきました。

1. 本イベントの概要

本イベントは、昨年度に野村不動産 住宅部門にて開催した「SUSTAINABLE FUTURE FES 2024 in IKEBUKURO」を発展させ、住宅部門の枠を超えて規模を拡大し、開催いたしました。

当社サステナビリティポリシーの一つである「共に創る未来」のとおり、サステナビリティの多様な側面について、本イベントの趣旨に賛同いただいた27の企業や団体および来場者のみなさまとともに考える3日間となりました。



【イベントの様子】

【開催概要】

日時	2026年2月21日(土)～23日(月・祝)
場所	東京都港区芝浦1丁目1-1 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S 28階
主催	野村不動産ホールディングス、野村不動産
対象	野村不動産 住宅部門の会員組織（野村不動産グループカスタマークラブ、プラウドクラブ等）のお客様、野村不動産が運営するオフィスの入居者様など
出展企業・団体数	27（出展企業・団体一覧は次ページ参照）
出展内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ：廃材を使用したキーホルダーや小物づくり、発電体験、VRでのSAF^{※1}体験、野村不動産グループ「つなぐ森」端材の工作、押し花しおり作り、視覚障がいの疑似体験、大学の研究から考える未来 等 ・セミナー：海の生き物とSDGs、電気の大切さと簡単防災対策、障がいのある子の子育て、推しの木を探そう、野菜のエキスで「宝石せっけん」を作ろう 等
来場者数	約1,800名（3日間合計）
デザイン・設計・施工・運営	株式会社博展

※1：SAF（Sustainable Aviation Fuel）・・・企業や家庭で発生する廃食用油からつくられた持続可能な航空燃料のこと

【参加者の評価】

3日間を通して約1,800名の方にご来場いただき、親子連れを中心に未就学児から60代以上まで幅広い年齢層のお客様にお越しいただきました。

イベント満足度	4.67（満足度を高い順に5～1の指数で評価した結果の平均値）
参加者の主な声 （来場後のアンケートより一部抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった / ・子どもが喜んだ ・学びがあった、出展企業の取り組みが理解できた



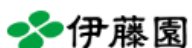
【イベントの様子】

<主な出展企業・団体一覧>



良品計画

ECOMMIT



PLASTICITY



TOPPAN

＊天一碧 株式会社



宝石せっけん

2. インクルーシブな会場づくり

本イベントには多様な方が来場することを想定し、お子様連れの方や障がいを持った方などにも安心して過ごしていただけるよう会場づくり・運営を行いました。あわせて会場へのアクセスについて障がいのある方が来館される際に役立つ「アクセシビリティ・マップ※2」を公開しております。

インフォメーションへの設置・配備	<ul style="list-style-type: none"> ・筆談ボード、指差しパンフレットの設置…①② ・誰もが安心して楽しめる「アクセシビリティマップ」の配布…③ ・車いすの用意
会場内への設置・配備	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者歩行テープ「ココテープ」の設置…④ ・授乳室・カームダウンルーム※3の設置…⑤ ・視認性に配慮したサイン

※2 : <https://www.bluefrontshibaura.com/barrier-free/>

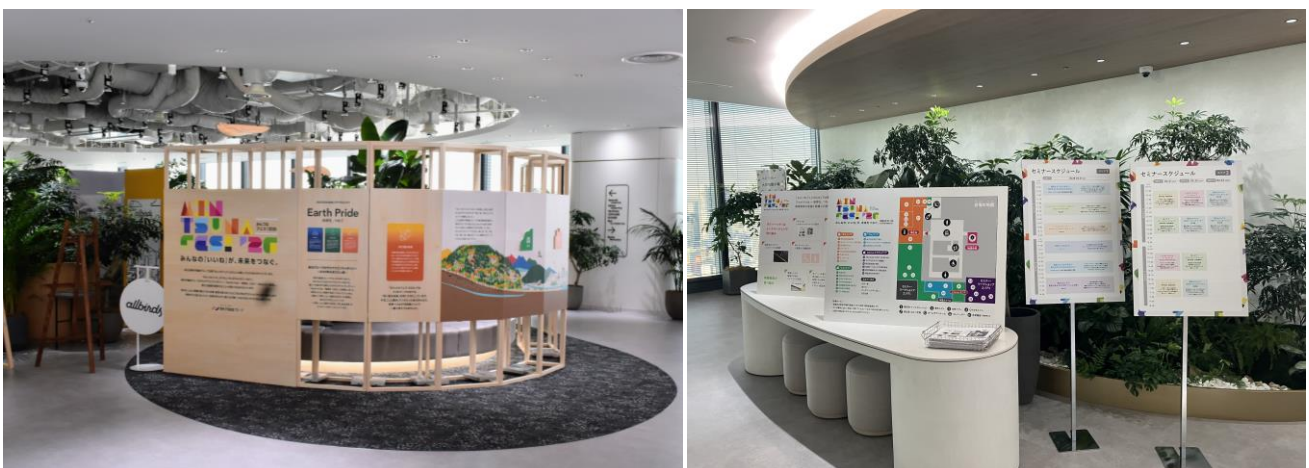
※3 : 感覚過敏や発達障害、認知症などで音・光・視線などの刺激を避けたい人が、心身のパニックを防ぎ休息できる静かな空間。触って落ち着けるグッズやブランケットを配備

【インクルーシブな取り組みの例】

- ① 筆談ボード ② 指差しパンフレット ③ アクセシビリティマップ ④ 視覚障がい者歩行テープ ⑤ カームダウンルーム



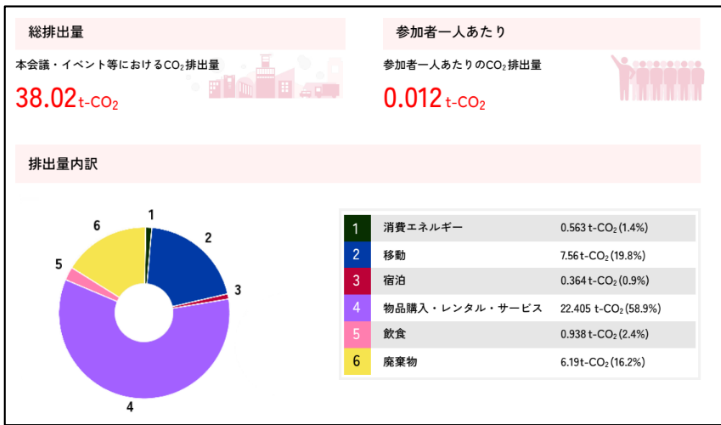
【会場の展示】



3. 環境配慮への取り組み

再生可能なパネルの採用	資源としての循環が可能な、再生プラ入り&リサイクル可能なパネル素材「Reco ボード」を採用
FSC®認証紙※ ⁴ を使用	視認性に配慮したサイン本イベントの配布物には再生紙もしくは適切に管理された森林から生産されたことを証明する FSC®認証紙を使用
カーボンオフセット※ ⁵ の取り組み	CO2 排出量算出および Jクレジット購入によるカーボンオフセットを実施…①
来場パス シードペーパー活用	来場パスに関しても、紙ゴミとなった古紙を再生し、さまざまなお花の種やハーブの種を漉きこんだシードペーパーを採用…②

①カーボンオフセットへの取り組み



②来場パス シードペーパー活用



※ 4 : FSC®認証紙…国際的 NPO 法人である FSC (Forest Stewardship Council) が定めた、森林資源を守ることを目的として厳格に管理された木材を使用し作られた紙のこと。

※ 5 : カーボンオフセット : 日常生活・経済活動で排出する温室効果ガスをまずできる限り削減し、どうしても減らせない分を排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせる考え方のこと。

当社グループではサステナビリティポリシー2050年のありたい姿-「Earth Pride 地球を、つなぐ」において、「人間らしさ」「自然との共生」「共に創る未来」を掲げております。

今後も事業活動や本イベントのような機会を通しサステナブルな取り組みを継続するとともに、多種多様な組織・人が共に手をとりあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出すこと、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続けることを目指します。

【ご参考①】野村不動産グループの 2030 年までのマテリアリティと SDGs について

野村不動産グループ マテリアリティ				
 DECARBONIZATION 脱炭素	 BIODIVERSITY 生物多様性	 CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン	 DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	 HUMAN RIGHTS 人権
本リリースの取組が該当するマテリアリティ	野村不動産グループの取組特色	本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)		
 DECARBONIZATION 脱炭素	不動産デベロッパーとして、まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取り組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。	  ※本イベントは多くのSDGs項目に関連するため、イベントの実施意義自体に関わるSDGs項目のみを掲載しております		
 BIODIVERSITY 生物多様性	「野村不動産グループ生物多様性方針」のもと、生体系の保全や循環する森づくりなどに積極的に取り組み、「ネイチャーポジティブ」の達成に向けた行動を促進します。			
 CIRCULAR DESIGN サーキュラーデザイン	野村不動産グループ生物多様性方針」のもと、生体系の保全や循環する森づくりなどに積極的に取り組み、「ネイチャーポジティブ」の達成に向けた行動を促進します。			
 DIVERSITY & INCLUSION ダイバーシティ & インクルージョン	D&I推進方針の施策や、多様な人材の活躍を促進することを通じて社会ニーズに応えられる商品・サービスを提供していきます			
 HUMAN RIGHTS 人権	私たちに関わっていただくすべての方々とともに、ビジネスを進めるための体制づくりに取り組み、良好なコミュニケーションを一層深めていきます			

※野村不動産グループの重点目標（マテリアリティ）を国連の SDGs（持続可能な開発目標）に当てはめて整理しております。サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

【ご参考②】

野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

＜経営計画における 3 カ年計画の事業方針＞

基本方針		グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。	
事業方針	基幹事業	分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。	
	注力領域	持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。	
		1	成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
		2	開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
		3	グループ内連携、野村グループとの連携の強化
		4	海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み
5	戦略投資（M&A）による成長の加速		

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、今後 3 カ年で注力する事業方針を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください